

R5年度 第1回チェックリスト

方法：個人でセルフチェックをしてからグループで話し合いをする

時期：7～8月にかけて

人権擁護のためのセルフチェックリストをやってみての感想

- ・ 昨年もやったので気づいたり意識したりすることができ、結果として「していない」が増え、良い結果につながっている。また、今年度は人権についての研修も多く高い意識をもって保育できていると思う。
- ・ チェックすることで保育の振り返りができた。
- ・ 意識したつもりでも昨年と同じ内容ができていないように感じた。
- ・ 自分なりに気を付けているがチェックしてみるとできていないことがあったり、本当にこの言葉かけ・関わりが正解なのか心配になったり悩んだりした。
- ・ 保育者自信が心の余裕やゆとりをもって関わることの大切さを感じた。
- ・ 保護者との考え方の違い、保護者対応の難しさも感じた。自分一人で解決するのではなく、相談や報告など、保育士同士の連携も必要と感じた。
- ・ 子どもの思いを受け止める保育をしているが、集団生活の中で完璧な関わりは難しく感じる。
- ・ 対応の仕方を園で統一することも大切に感じた。それぞれの保育観もあり対応の仕方でこれってどうかな？と思う部分をなかなか相手には言いにくいこともあるので、例えば第三者などから見てもらうこともいいのかなと思う。

～保育者の関わりの理論と実践～

教育と福祉の専門職として

高山静子先生 の本より

【演習で確認できること 確認したいこと】

- ・ 子どもの気持ちは受け入れても、受け入れられない行動や状況がある
- ・ 受け入れられない行動や状況は、どのようなときかを言葉で共有化する
- ・ 受け入れる、受け入れない行動の背景にある、考え方の違いに気づく

演習6をおこなって

「赤ちゃんや幼児を尊重するとは」

- ・ まずは安全面を考えることが大切だと思う。
- ・ 時間に限りがある時や危険なことなどは尊重できないこともあるが、時間に余裕を持って計画を立てることで、解消できる場合もあるかもしれない。出来ない時も思いは聞き、一度受け止めることは大事では。
- ・ 年齢・その子の状態（特性、体調など）・置かれている環境・社会性など、いろいろな視点から考え判断することが大切。
- ・ 集団でいる時の個の思いも大事だけど、生活の区切りも大事だと思う。

「子どもを尊重する」ことと、「子どもの行動を受け入れる」ことの違いについての意見交換

- ・ なんでも子どもを尊重しなければと思っていると、指導に困る。〇〇したかったという思いは受け止めるが危険なこと、人に迷惑をかけること、社会のルールなどに関しては伝えなければと感じた。

- ・尊重する必要はあるが、行動は受け入れる時と受け入れられない時がある。その判断が重要で子どもを大切に思うからこそ、どうすべきか考える。そこが、社会性や思いやる心、時に我慢する心の育ちにつながっていくと思う。
- ・尊重するためには「どうしたの?」「なにしてるの?」などなげかけの言葉を言うよう心がけている。
- ・甘えと甘やかしは違う。乳児期は十分甘えさせて関係をつくり愛着をしっかり築くことが大切だと思う。
- ・意志とわがままの見極めが大切、相手の気持ちをどう考えているかどうか。
- ・2つの違いがはっきりわからなかったが全てを尊重することはできない。そのような時には特に気持ちを受け止める事は大切だと思う。
- ・大人が子どものいいなりになるのもおかしいし、子どもがいつも大人のいいなりになるのもおかしい
- ・子どもにとって何が大切かを考え、悩んだときは話し合える場、関係づくりができてるといいと思う。

「食育・食事の提供等に関するチェックリスト」をやってみての感想

- ・食事の提供についてはできていると思う。
- ・保育との関わりとなると配膳や子ども達とのやりとりがないため把握できていないことがある。
- ・食育は保育士、給食職員とそれぞれ思いが違う部分がある。連携がとても必要だと思うが、そのための時間がとれない。
- ・園に対してなのか、保育士、給食職員への問いかけなのか答えにくい部分があり、答えるのに難しかった。
- ・何て答えていいのかよくわからなかった。

「衛生管理チェックリスト」をやってみての感想

- ・日々の業務だが実施できている。
- ・設備、動線上できて居ないところもある。
- ・100点満点 よくできていると思う。
- ・普段からできている事。

お忙しい中、時間を作ってのチェックリストありがとうございました。

日々の保育、業務の振り返りをすることはとても大事だと思います。また、自分一人ではなく、いろんな人（経験年数、年齢、クラスや学年の違い）と交流することで、共感できること、反省すること、これからのヒントをもらえること・・・など、今後の自分の保育に繋がっていただけるといいなと思いました。